

## 公益社団法人日本地震学会平成28年度第5回理事会議事録

1. 日 時 平成28年12月2日(金) 14:00~17:00
2. 場 所 東京大学地震研究所 事務会議室B
3. 理事数 15名
4. 出席者 理事11名
  - ・理 事：山岡耕春，古村孝志，岩田貴樹，木下正高，片尾 浩，河合研志，佐藤利典，谷岡勇市郎，津村紀子，中川和之，山野 誠
  - ・監 事：加藤照之，鈴木善和
  - ・事務局：中西のぶ江，岡野美紀子

### 5. 審議事項

議長山岡耕春は、本日の理事会の理事出席者が11名であり定足数を満たしているため、理事会が成立することを宣言した。続いて、以下の議案について、逐次審議に入った。

#### 第1号議案 EPS 科研費申請に関する JpGU への申し入れについて

議長より、EPSの次期科研費申請について、地球電磁気・地球惑星圏学会会長から提案のあった(公社)日本地球惑星科学連合(以下、JpGU)への申し入れについて概要が説明された。審議の補足として岩田欧文誌運営担当理事より、EPS誌が現在受けている科研費の状況説明、雑誌としての現状及びEPS誌運営委員会における検討状況、想定される次期科研費の申請選択について説明が行われた。審議の結果、地球電磁気・地球惑星圏学会会長からの提案をうけ、EPS誌を刊行する5学会から平成30年度以降の科研費申請についてJpGUと共同で一本化する方針を承認した。

#### 第2号議案 2017年度EPS誌出版にかかる分担金について

岩田理事(欧文誌運営担当)より、2017年度のEPS誌の出版にかかる地震学会の分担金について昨年度と同額が要請されているとの説明があった。審議の結果、2017年度の分担金額を昨年度と同額の100万円とすることを承認した。また、分担金額を定める学会間覚え書きについて、昨年から追加された箇所については変更理由の説明を求めることとし、次回理事会において岩田理事から報告を受けることとした。

#### 第3号議案 表彰関係の申し合わせの承認について

佐藤理事(表彰担当)より、前回理事会において検討された日本地震学が行う表彰事業の申し合わせ事項が提示された。審議の結果、申し合わせ事項を承認し、今後の表彰事業において申し合わせ事項に沿った運営を行うこととした。

#### 第4号議案 学会賞選考委員の選任について

佐藤理事（表彰担当）より，論文賞，若手学術奨励賞，技術開発賞の選考委員候補者について提案された。審議の結果，提案された各選考委員候補者を選考委員として全会一致で承認した。引き続き，日本地震学会賞における選考委員について審議が行われ，日本地震学会賞受賞者を選考するにあたり適任であると思われる会員が推挙された。理事会より推挙された候補者へ選考委員への就任を依頼し，承諾した場合において選考委員として承認することとした。

#### 第5号議案 協賛・後援依頼について

以下2件の資料が回覧され，審議の結果，協賛，後援名義の使用を許可した。

協賛：九州ライフガード TEC～防災・減災・危機管理展～

後援：第21回「震災対策技術展」横浜

#### 第6号議案 入会承認について

議長から，入会申請者の承認に関する件について諮られ，審議の結果，正会員に申し込みのあった5名（内学生2名）の入会を全会一致で承認した。

### 6. 報告事項

以下の報告があった。

1. 議長より，正会員8名（内学生2名），名誉会員1名の退会届が提出されたとの報告があった。
2. 河合理事（学会情報誌担当）より業務執行報告が行われた。「日本地震学会ニュース」のTwitterアカウントについて，数年前に試験的に開設したが，全く運用されていないためアカウントの廃止について検討してほしいとの提案があり，検討した結果，廃止する旨のアナウンスを行った後にアカウントを削除することとした。
3. 片尾理事（地震編集担当）より業務執行報告が行われた。1月に刊行される地震に3編掲載予定であること，査読中の論文が9編で，今年度現在までの投稿が15編であることが報告された。
4. 津村理事（広報担当）より業務執行報告が行われた。なみふる109号の編集方針について，次期広報委員長の候補者について，第41回記者懇談会の開催報告について報告された。

5. 佐藤理事（海外渡航旅費助成金審査担当）より業務執行報告が行われた。前回理事会で検討された海外渡航旅費助成金への申請資格については内閣府に確認の上、現行のままとすることが報告された。
6. 岩田理事（欧文誌運営担当）より業務執行報告が行われた。出版社から提示された投稿料の値上げについては、値上げ分を科研費から充当し著者らが支払う投稿料は変更しないこと、出版社からのさらなる値上げの要求については承諾しがたい旨を回答すること、来年度の予算検討状況、賞の新設について、インパクトファクターについて報告が行われた。その他、EPS 誌の 2015 年度会計決算報告資料が参考資料として提示された。
7. 佐藤理事（表彰担当）より業務執行報告が行われた。前回の理事会で決定した PEPS 誌の論文賞推薦協力について、PEPS 誌側から推薦形態について問い合わせがあり、極力、負担がない形で協力をお願いしたいとの意図を伝えたことが報告された。
8. 山野理事（学校教育担当）より業務執行報告が行われた。秋季大会一般向けイベント「地震の教室」において、親子向け教室の参加者が 20 名（9 組）、教員向け教室の参加者が 23 名で、2 つの教室を同じ部屋で開催することにより、それぞれの参加者が他の教室も見学できるようにしたこと、開催場所である名古屋市科学館の HP に情報が掲載されたことが参加者を募ることに非常に有効であったとの報告があった。来年度も一般公開セミナーに合わせて同様の教室を開催することを計画しており、運営や宣伝について地元博物館との連携を図りたいと考えていると説明があった。
9. 中川理事（普及行事担当）より、業務執行報告が行われた。来年度のこどもサマースクール実施についてまだ開催地が決定しておらず、益城町からの開催希望について調整中であること、ジオパーク支援 WG の活動について現在まで 2 回の WG を開催し来年度の活動計画を検討していること、社会活動基金を用いた活動について南阿蘇での活動に引き続き、熊本側での開催を調整中であることが報告された。
10. 木下常務理事より、IAG-IASPEI2017 実行委員会の IAG-IASPEI2017 の開催準備状況について、後援申請関係、予算報告、プログラム関係、広報・巡検、ブースの担当者名と合わせて報告された。また、加藤監事から IAG-IASPEI2017 の寄付担当として助成金申請の進捗状況や寄付依頼先の紹介について説明が行われた。
11. 谷岡理事（男女共同参画担当）業務執行報告が行われた。男女共同参画推進委員会の活動について報告された。

12. 山岡会長（倫理担当）より、業務執行報告が行われた。これまでのところ倫理委員会に係わる事案は発生していないことが報告された。

13. 古村理事より9月27日に開催された日本地震工学会・日本地震学会共催「昭和南海地震70周年シンポジウム」について、高知工科大学で開催し、参加者は170名であったこと、地震学会からは古村副会長の講演ほか地元の岡村眞会員（高知大学特任教授）に話題提供いただいたこと、運営については馬場理事が協力したことが報告された。

14. 山岡会長より11月24日から26日までメルボルンで開催されたASC2016について、登録者が76名であったこと、日本からは佐竹会員が基調講演を行ったこと、次の開催はインドのハイデラバードで開催予定であること、ビューロメンバーについては次回のIASPEI（神戸開催）で決定する予定であることが報告された。

15. 木下理事より、「福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会」情報交換会に関するアンケートの回答内容について報告された。

16. 鶴岡理事（会計担当）の代理報告として、提示された資料を基に11月15日現在までの予算執行報告が事務局より行われた。また、次回理事会までに各事業担当理事は次年度予算の申請を行うようにとの案内があった。

## 7. その他（意見交換）

・災害情報学会との共同勉強会「南海トラフ巨大地震予測可能性と社会課題」の開催および「南海トラフ巨大地震予測可能性」に関する地震学会会員の意見交換会（ミニシンポ）の開催について

古村理事（地震学を社会に伝える連絡会議担当）より、国で南海トラフ地震発生予測にかかる検討が進められる中、9月30日のシンポジウムおよび秋季大会時の説明会に引き続き、地震学研究者の立場での議論を深めることを目的として災害情報学会との共同勉強会「南海トラフ地震の発生予測と社会的課題」を1月28日に、地震学会ミニシンポ「南海地震発生予測研究（仮題）」を2月に開催することを計画し、準備を進めていることが報告された。今回の企画を検討するにあたり、今後も共同勉強会を継続してはどうか、2012年に策定した「行動計画2012」に基づき地震災害に関する政策等に対応し、学会で特別シンポジウムやセッションを設け、議論を重ねていくことが重要ではないかとの意見が出された。なお、今回の2つの企画については日程確保のため会員へ早期に開催案内を行うこととした。

- ・地震学会ホームページ改修について

古村理事（地震学を社会に伝える連絡会議担当）より，連絡会議で検討していたホームページの改修について近日公開予定であることが報告された．トップページのデザインが提示され，意見交換が行われた．委員会等のページについては各委員会で管理が行えるようになるとの説明があり，トップページの写真については定期更新を予定しており提供をお願いしたいとの案内があった．

- ・過去に発行された大会講演予稿集の電子化について

事務局より，会員からの過去に発行された大会講演予稿集の電子化の検討依頼について説明された．過去に刊行された予稿集すべての電子化ではなく近年に絞ってもよいのではといった意見や，検索機能がつけられれば便利であるとの意見が出され，意見交換の結果，とりあえず1冊当たりの電子化にかかる金額の見積もりを取り，引き続き検討を行うこととした．